

# 衆議院法務委員会ニュース

平成 25. 4. 10 第 183 回国会第 7 号

4 月 10 日（水）、第 7 回の委員会が開かれました。

## 1 犯罪被害者等の権利利益の保護を図るための刑事手続に付随する措置に関する法律及び総合法律支援法の一部を改正する法律案（内閣提出第 28 号）

- ・谷垣法務大臣、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・階猛君外 1 名（民主）提出の修正案について、提出者階猛君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
- ・修正案に対し、国会法第 57 条の 3 の規定により内閣の意見を聴取したところ、谷垣法務大臣から、「反対である」旨の発言がありました。
- ・修正案について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。  
（賛成一民主、石川知裕君（無） 反対一自民、維新、公明 欠席一みんな）
- ・原案について採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、石川知裕君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

### 田 嶋 要君（民主）

- ・政治が手を差し伸べる必要がある弱者の保護という観点から、法務大臣は、保護すべき対象者をどう分類し、その中に犯罪被害者をどう位置付けているのか、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・犯罪被害者への支援は一つ一つ段階的に進めるのではなく、今できることの全てを速やかに実施する必要があると考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・犯罪被害者（被害者参加人）が公判に出席した場合の旅費等の支払は当日中に行われるべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。また、公判記録の謄写に要する費用や検察庁の被害者ホットラインの利用に要する通信費用を犯罪被害者に負担させないように支援すべきではないか、伺いたい。

### 階 猛 君（民主）

- ・東日本大震災復興事業の加速化措置のひとつとして財産管理制度が公表されたが、不在者財産管理人に対する報酬は誰がどのような方法で支払うのか、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・被災者が財産管理制度を積極的に利用するためには、制度の手直しではなく法改正等の見直しが必要と考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・犯罪被害者に対する無料法律相談や日弁連が日本司法支援センターに委託して実施している被害者法律援助事業等の援助費用を国費で負担することについて、改めて法務大臣の見解を伺いたい。

### 西 野 弘 一君（維新）

- ・本法律案では被害者参加人のための国選弁護制度における資力要件を緩和することとしているが、資力要件を設けている理由について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・同制度については資力要件を廃止すべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・犯罪被害者の刑事手続への参加に関しては、公判前整理手続や上訴についても議論すべきであると考えているが、今後の議論の方向性について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・犯罪被害者に対する各種の支援制度が創設される前の犯罪に係る被害者について、権利回復を図るための制度の創設を検討していただきたいが、法務大臣の見解を伺いたい。

### 椎 名 毅君（みんな）

- ・第 2 次犯罪被害者等基本計画の閣議決定から 2 年が経過し、同一内容の法案が今回提出されたわけであるが、法案提出までの 2 年間の検討状況について、法務大臣に伺いたい。
- ・日本司法支援センター（法テラス）は、総合法律支援法に基づき設立されたものであるが、法テラスが行っている事業が弁護士自治を脅かしたり民業を圧迫しているのではないかとの懸念について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・法曹養成について、教育レベルの上がない法科大学院の見直しだけでなく、法曹養成制度そのもの見直しの検討も必要と考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

## 大口善徳君（公明）

- ・砂川事件大法廷判決前に、田中最高裁判所長官が在日首席公使との会談において、判決時期を伝え、評議は実質的な全会一致が望ましい等述べた旨の公文書が公開されたとの報道があったが、法務大臣の所感を伺いたい。
- ・施行後3年を経過した犯罪被害者参加制度の効果について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・被害者参加人に支給される旅費等は政令で定めるとされているが、その支給基準及び請求手続について、法務大臣の見解を伺いたい。また、裁判所の請求書送付事務の体制整備について、法務省及び最高裁判所当局に伺いたい。
- ・公判前整理手続の事前打合せに被害者参加人等が参加できる運用を定着させるべきだと思うが、法務大臣の見解を伺いたい。

### 3 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約の実施に関する法律案（内閣提出第29号）

- ・谷垣法務大臣から発言がありました。
- ・谷垣法務大臣から提案理由の説明を聴取しました。